

令和５年度 乳幼児教育保育の質の向上に関する懇談会について

1 令和５年度の懇談会の議題について

乳幼児期の教育及び保育は、子どもの健全な心身の発達を図り生涯にわたる人格形成の基礎を培う上で重要である。特に、近年、増加傾向にある外国にルーツを持つ子どもや障害のある子どもといった特別な配慮を必要とする子どもへの支援は、長期的な視点で乳幼児期から学校卒業後までの一貫した支援を行うことが重要とされている。また、一人一人のニーズや特性に応じた支援は、一人一人の子どもの姿を丁寧に見取り、適切な環境を整え、指導内容や指導方法の工夫などを行っている幼児教育・保育との親和性が高い。

こうしたことを踏まえて、特別な配慮を必要とする子どもへの支援について、令和４年度の第１、２回の懇談会では、受入時、園生活及び小学校への接続に当たり、必要な配慮や支援に関して意見聴取し、第３回では、各回で出された意見などを踏まえ、支援の充実を図るための今後の取組について意見聴取した。

令和５年度は引き続き、幼児教育・保育施設の機能を十分に生かした効果的な受入体制や支援体制について意見聴取する。

2 開催時期

７月２６日（水）、１０月、３月

3 令和５年度の開催スケジュール（予定）

議題等	第１回 令和５年７月２６日（水） 外国にルーツを持つ子どもの園の受入れから小学校への接続までに必要な対応について（まとめ）
	第２回 令和５年１０月 障害のある子どもの園の受入れから小学校への接続までに必要な対応について（まとめ）
	第３回 令和６年３月 乳幼児教育保育と小学校教育との円滑な接続に必要な視点や考えを共有するための関係機関の連携について（仮）